

環境委員会

委員一覧 (20名)

委員長	牧山	ひろえ (※)	佐藤	信秋 (自民)	柳田	稔 (※)
理事	滝沢	求 (自民)	関口	昌一 (自民)	浜田	昌良 (公明)
理事	三木	亨 (自民)	松村	祥史 (自民)	横山	信一 (公明)
理事	鉢呂	吉雄 (※)	松山	政司 (自民)	山下	芳生 (共産)
理事	片山	大介 (維新)	丸川	珠代 (自民)	寺田	静 (無)
	磯崎	仁彦 (自民)	青木	愛 (※)	平山	佐知子 (無)
	尾辻	秀久 (自民)	芝	博一 (※)		(2.1.30 現在)

※ 立憲・国民・新緑風会・社民

(1) 審議概観

第201回国会において、本委員会に付託された法律案は、内閣提出1件であり、可決した。

また、本委員会付託の請願4種類18件は、いずれも保留とした。

〔法律案の審査〕

大気汚染防止法の一部を改正する法律案（閣法第51号）は、建築物の解体工事における石綿の飛散防止を徹底するため、これまで規制対象ではなかった石綿含有成形板など、全ての石綿含有建材を規制の対象とするとともに、不適切な解体工事前の建築物の事前調査を防止するため、その調査方法を定める等の措置を講じようとするものである。

なお、本法律案の審査に先立ち、委員派遣を行い、石綿の含有状況を調査・分析する企業を訪問し、実情調査を実施した。

委員会においては、石綿の製造・輸入に係る規制の導入が遅れた経緯、石綿含有成形板などについて届出等の規制対象とはしない理由、解体等現場における大気濃度測定を早期に義務付ける必要性、災害時の飛散防止のための石綿使用情報

の把握の方策、直接罰導入の背景や意義等について質疑が行われた。

質疑を終局した後、日本共産党より、大気濃度測定義務付け等を内容とする修正案が提出された。討論の後、順次採決の結果、修正案は否決され、本法律案は多数をもって原案どおり可決された。なお、附帯決議が付された。

〔国政調査等〕

2月20日～21日、富山県及び石川県の環境及び公害問題に関する実情を調査し、もって本委員会に付託を予定される大気汚染防止法の一部を改正する法律案の審査に資するため、富山県及び石川県へ委員派遣を行った。

3月10日、環境行政等の基本施策について小泉国務大臣から所信を聴くとともに、令和2年度環境省予算及び環境保全経費の概要について佐藤環境副大臣から、公害等調整委員会の業務等について荒井公害等調整委員会委員長から、原子力規制委員会の業務について更田原子力規制委員会委員長からそれぞれ説明を聴いた。

3月18日、予算委員会から委嘱された令和2年度一般会計予算、同特別会計予算

及び同政府関係機関予算（総務省所管（公害等調整委員会）及び環境省所管）について審査を行い、令和2年度予算における「気候変動×防災」に係る具体的措置の内容、気候変動により感染症リスクが高まることに関する環境大臣の見解、気候変動及び防災に資する自立分散型エネルギーシステムの普及策、除去土壌等の減容・再生利用の理解醸成のためエネルギー対策特別会計の勘定間繰入制度活用の必要性、特定復興再生拠点区域において令和2年度予算により実施される除染の範囲、水俣病特措法対象地域外の被害者を救済するための悉皆調査の必要性、マイボトルの普及啓発に向けて給水器を屋外に整備する必要性、ニホンジカ及びイノシシの個体数半減目標の達成に向けた捕獲の担い手への支援策等について質疑を行った。

3月24日、環境行政等の基本施策に関する件、公害等調整委員会の業務等に関する件及び原子力規制委員会の業務に関する件について調査を行い、フロン類の使用機器廃棄時の回収率向上及びグリーン

冷媒への転換促進の取組状況、新たに未来投資会議に臨む環境大臣の姿勢、エネルギー安定確保の観点から再エネ比率を大幅に上方修正する必要性、NDC及び地球温暖化対策計画の目標数値引上げの必要性、石炭火力発電輸出4要件の見直しに対する環境大臣の決意、JERAによる石炭トレーディング事業に関する環境大臣の見解、獣医学部における生きている動物を用いた実習に対する環境大臣の認識及び実態調査の必要性、COP25における市場メカニズムに係る交渉経緯と実施ルールの合意ができなかった理由等について質疑を行った。

5月21日、海洋プラスチックごみ問題に対する環境大臣の基本認識、令和2年度第1次補正予算における環境省経費、市町村の一般廃棄物処理における新型コロナウイルス感染症対策の状況、地球温暖化対策計画の見直しにおいて石炭火力発電所の廃止等を盛り込む必要性、新型コロナウイルス感染症収束後の環境政策の在り方、飲食店での食べ残し対策等について質疑を行った。

(2) 委員会経過

○令和2年1月30日(木) (第1回)

- 環境及び公害問題に関する調査を行うことを決定した。
- 委員派遣を行うことを決定した。

○令和2年3月10日(火) (第2回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 環境行政等の基本施策に関する件について小泉国務大臣から所信を聴いた。
- 令和2年度環境省予算及び環境保全経費の概要に関する件について佐藤環境副大臣から説明を聴いた。
- 公害等調整委員会の業務等に関する件について荒井公害等調整委員会委員長から説明を聴

いた。

- 原子力規制委員会の業務に関する件について更田原子力規制委員会委員長から説明を聴いた。
- 派遣委員から報告を聴いた。

○令和2年3月18日(水) (第3回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 令和2年度一般会計予算（衆議院送付）
令和2年度特別会計予算（衆議院送付）
令和2年度政府関係機関予算（衆議院送付）
（総務省所管（公害等調整委員会）及び環境省所管）について小泉環境大臣、佐藤環境副大臣、石原副大臣、和田国土交通大臣政務官

及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

三木亨君（自民）、鉢呂吉雄君（※）、青木愛君（※）、浜田昌良君（公明）、片山大介君（維新）、倉林明子君（共産）、寺田静君（無）、平山佐知子君（無）

本委員会における委嘱審査は終了した。

○令和2年3月24日（火）（第4回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 環境行政等の基本施策に関する件、公害等調整委員会の業務等に関する件及び原子力規制委員会の業務に関する件について小泉環境大臣、佐藤環境副大臣、長谷川総務副大臣、石原環境副大臣、木環境大臣政務官、加藤環境大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

滝沢求君（自民）、鉢呂吉雄君（※）、青木愛君（※）、浜田昌良君（公明）、片山大介君（維新）、武田良介君（共産）、寺田静君（無）、平山佐知子君（無）

○令和2年5月21日（木）（第5回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 海洋プラスチックごみ問題への取組に関する件、令和二年度第1次補正予算における環境省経費に関する件、市町村の一般廃棄物処理における新型コロナウイルス感染症対策に関する件、地球温暖化対策における石炭火力発電の在り方に関する件、新型コロナウイルス感染症収束後の環境政策の在り方に関する件、飲食店の食べ残し対策に関する件等について小泉環境大臣、佐藤環境副大臣、加藤環境大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

須藤元気君（※）、浜田昌良君（公明）、片山大介君（維新）、山下芳生君（共産）、寺田静君（無）、平山佐知子君（無）

- 大気汚染防止法の一部を改正する法律案（閣法第51号）（衆議院送付）について小泉環境大臣から趣旨説明を聴いた。

○令和2年5月28日（木）（第6回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 大気汚染防止法の一部を改正する法律案（閣法第51号）（衆議院送付）について小泉環境大臣、佐藤環境副大臣、稲津厚生労働副大臣、木環境大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、討論の後、可決した。

〔質疑者〕

三木亨君（自民）、青木愛君（※）、浜田昌良君（公明）、片山大介君（維新）、山下芳生君（共産）、寺田静君（無）、平山佐知子君（無）

（閣法第51号）

賛成会派 自民、※、公明、維新、無（寺田静君、平山佐知子君）

反対会派 共産

なお、附帯決議を行った。

○令和2年6月17日（水）（第7回）

- 請願第37号外17件を審査した。
- 環境及び公害問題に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。

委員派遣

○令和2年2月20日（木）、21日（金）

- 富山県及び石川県の環境及び公害問題に関する実情を調査し、もって本委員会に付託を予定される大気汚染防止法の一部を改正する法律案の審査に資するため

〔派遣地〕

富山県、石川県

〔派遣委員〕

牧山ひろえ君（※）、滝沢求君（自民）、三木亨君（自民）、鉢呂吉雄君（※）、片山大介君（維新）、寺田静君（無）、平山佐知子君（無）